

妊娠貧血と妊娠中毒症に関する研究

旭川医科大学産科婦人科学教室
清水 哲也

1. 研究計画並びに研究経過

本年度は本研究の3年目に当るため、本研究の主目的である疫学調査に主力を注いだ。すなわち、調査票の作成に協力するとともに、清水は600症例、永井は300症例について調査表を作成した。その集計は藤井グループに委せた。

それとともに永井は下記のような研究を併せて行なった。

2. 研究結果

〔1〕 永井：妊婦の葉酸を検索し、その半数に葉酸低下が、11%に葉酸欠乏が認められ、わが国において妊婦貧血治療の上で、葉酸の意義を重視する必要があることを明らかにした。

〔2〕 疫学調査

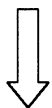
疫学調査の結果は藤井グループの報告書に譲る。

「妊婦の貧血に関する疫学調査」参照



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



2. 研究結果

〔1〕永井:妊婦の葉酸を検索し,その半数に葉酸低下が,11%に葉酸欠乏が認められ,わが国において妊婦貧血治療の上で、葉酸の意義を重視する必要があることを明らかにした。

〔2〕疫学調査

疫学調査の結果は藤井グループの報告書に譲る。

「妊婦の貧血に関する疫学調査」参照